

Good bye 2013

今年は何があったのかと一緒に考えてみたいと思います。今年で一番重要な事は基元節です。基元節の宣布によって天一国元年が出発しました。そして基元節を迎えるために聖酒式を行いました。そのことにより多くの食口が戻って来ましたし、神の国天一国に入籍する事が出来ました。さらに日本においても大きな変化がありました。それは総会長、会長の人事です。若い6000双に世代交代いたしました。中心が変わることに全体が変わるので、お母様の構想の中には2世を前面に立てる内容がありますので、今2世が責任者に立って行っているのです。ただ時代が変わり実践していく事は簡単なことではないのです。お母様も夜ゆっくりと休むことが出来ないというのです。ですから2世時代が成功して行かなければ今後はないというのです。

また、教区においても埼玉が西と東に分かれ、教区が出発した3月に教区長も就任されました。東埼玉は組織が何もありませんでしたので、まず最初に彩の国ファーズを結成いたしました。家ではお父さんの存在は重要です。ですので、最初に壮年の組織を強化し、秩序を正そうとしたのです。今取り組みが遅れているのが中高生です。埼玉教区の時に一緒にやってきた中高生を簡単に東西で線を引くのが難しいのです。時間をかけて整理していく必要があるのです。そして教区としての認識を持つために、毎週の金曜祈禱会を行って行きました。継続して行う事が出来た事は凄い事なのです。

次に家族で行っていく事を考えたのが天一国フェスティバルです。4,6,8,10,12月と会場を押さえるところから始めました。10月は出来ませんでした。4回行って来ました。そして必ず祝福を入れて行って来ました。祝福も12組、21組、24組、33組と行いました。

さらに10年ぶりに大運動会も行いました。しかし、浦和教会はビリでした。来年は必ず1位にならなければなりません。その為には皆さんが若くならなければならないのです。若くなるために自分の健康を管理しなければなりませんし、もっと御主人が参加しなければなりません。

地で準備した分、天は準備するのです。祈りもないのに天が祝福するはずはありません。教会建設もそうです。韓国から平和大使をお迎えすることも多くなりましたので、器を準備する必要があります。見せて自慢できるようにならないければなりません。残された2013年を良く過ごし、2014年の1月5日に礼拝の場を持って行きます。そこが1年の出発の場にもなりますので、よき年を迎えられるよう祈願申し上げます。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
天の父母様と真の御父母様の祝福が共にありますようお祈り致します

1、お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。

2、VISION2020 勝利の為の基台長及び区域長修練会

第8回:2014年1月12日(日)~1月17日(金)

3、しあわせセミナー(毎週水曜日 10:30~)

田川敏講師による新規向けセミナーを毎週開催いたします。

4、東埼玉教区出発式

日時:1月7日(火)10:30~

場所:浦和教会

5、東埼玉教区清平大役事19周年記念ツアー

期間:2014年1月18日~21日(3泊4日)

募集定員:40名

記念大役事と共に、龍平リゾートにも行きます。

参加費:70,000円

6、天一国基元節1周年

日時:天一国2年天暦1月13日(陽暦2/12)

場所:天正宮、清心平和ワールドセンター

7、2014年度 平愛奨学生の募集について

①日本の高校生:100名

1)成績優秀者:30名 学校・各種分野において成績優秀な者

2)活動優良者:20名 教会・各種活動において優良な者

3)福祉対象者:50名

②日本の大学生:150名

1)成績優秀者:30名 同上

2)活動優良者:20名 同上

3)福祉対象者:100名 同上

【奨学金額】

高校生:一律-16万円

大学生:成績優秀-50万円

活動優良-25万円

福祉対象-35万円

締切:2014年1月7日午後3時まで



【年頭標語】

창조주 하늘부모님을 닮은 참사랑을 실천하는 천일국의 참주인이 되자!

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する
天一国の真の主人になろう!



浦和教会

Holy Spirit Association For Unification
of World Christianity Urawa Church
世界基督教統一神霊協会

教区長:李炯燮 牧師

さいたま市南区南浦和1丁目23-12
Tel: 048-886-8774 / Fax: 048-886-8797
E-mail: uc.urawa@gmail.com

式次第



執礼者：李 炯燮教区長
司会者：田川 敏教育部長

開 会	司会者
黙 禱	全 体
※開会讃頌 聖歌 5番	全 体
※敬 拜	全 体
※家庭盟誓	全 体
代表祈禱	白石晴美
讃 頌	聖歌隊
み言訓読	全 体
説 教	責任を果たす子女となりましょう	
※讃 頌 聖歌 25番	全 体
※祝 禱	執礼者
※全体祈禱	全 体
教会音信	司会者
閉 会	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行的に行います

『 生めよ、殖えよ、地に満ちよ 』

今週のみ言

今や、言葉だけではなく、体で実践しなければならない時です。私たちは責任を果たせませんでした。あまりにも遅れてしまっていると感じます。お父様が生きておられるときに、真の父母様を知らしめなければなりません。2000年間の伝統を持つキリスト教は何をしましたか？再臨主が来たのに、虚空(こくう)だけを信じてきたではないですか？神様の摂理歴史とは何ですか？なぜ摂理をされるのですか？墮落したからですか。全知全能なるお方が、失敗のまま終わることができませんか？それも、御自身のゆえではなく、創造物である人間ゆえにです。

皆さんは祝福家庭であり、「原理」を勉強したから分かるでしょう。神様の願いも私達の願いも一つです。一つの目的を持って行きながらも、なぜ大胆に、勇敢にサタンと闘って勝ち、神様を解放してさしあげられなかったのでしょうか？なぜ人類歴史は、聖書で言う6000年もかかったのですか？

しかし、私たちは真の父母に侍っています。「真の父母」。6000年間、天と人類が待ちわびた言葉です。慕い求めた言葉です。いつ真の父母が来られて、私を再び生んでくれるのですか？人類は、サタン世界の血統を断ち切り、真の父母によって新たに生まれることを願うという希望を持って、はっきりと分からないながらも、その方向に進んできたという事実があります。

四大宗教が語っているではないですか。「どのようにすれば善に生きられるか」、「どのようにすれば天の福を受けるのか」。このように考えながら生きてきたのです。

～ TODAY'S WORLD JAPAN 天暦11号
真のお母様のみ言 ～

統一運動

天正宮訓読会(天一国元年天暦12月1日・陽暦1月1日)
2014年陽暦の新年を迎え、2020年までに進むべき指針となる標語を賜る！

「創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する天一国の真の主人になろう！」

待望の2014年が出発した。真のお母様はこの日訓読会で2014年陽暦新年を迎え2020年まで統一家が行くべき指標となる標語を授けられた。

真のお母様は「私たちは、毎日の生活の中で、天の父母様を忘れてはいけません。私たちが地上で生活しながら、創造主であられる神様が造った地上界がよりよく保全されるようにする必要があります」と語られ、最近大きな問題となっている環境問題を指摘された。続いて真のお母様は「我々がすべきことは、伝道！その次に私たちの周辺を広げて天の父母様が全力を尽くして創造されたこの美しい被造世界をよりよく保全しなければなりません。」そして「私たちが主人になって先頭に立たなければなりません」とおっしゃった。

真のお母様は「すべてのことに責任意識がない人は流れてしまいます。真の主人！これが私たちが2020年までにこの国の復帰のため、世界復帰のために一日も一時間も一分も忘れてはいけないことです。考えに考えて、天の知恵をお借りして人間としてできるすべての方法と能力、全てのものを動員して変えていかなければなりません。私たちが変えなければ私たちの未来がないというのです。私たちが変えなければなりません」と語られて私たちの責任を強調された。そして「創造主、天の父母様に、私たちを信じて喜ぶことのできる実績を毎月お返しする真の孝子、孝女、忠臣にならなければなりません。行ったり来たりする人にならず、当事者意識を持って、責任を持って行動する私たちにならなければなりません。これが新しい一年を出発するにあたって贈る祝福のみ言です」と2014年新年の祝福のみ言を下された。